

■密集住宅市街地整備における令和12年度までの目標

重点対策地区を構成する10の防災街区の全てにおいて

「不燃領域率40%以上」かつ「地区内閉塞度レベル2」を達成

※不燃領域率 40%以上：不燃領域率は「燃えにくさ」を表す指標で、40%以上になると延焼の危険性は低くなる。

※地区内閉塞度レベル2：地区内閉塞度は「逃げやすさ」を表す指標で、レベル2になると道路閉塞の危険性は低くなる。

■重点対策地区における2指標の基準値達成状況（令和4年度末時点）



2指標未達成の防災街区

2指標ともに基準値を達成している防災街区（該当なし）

※令和3年3月に国が公表している「地震時等に著しく危険な密集市街地」（＝重点対策地区）を範囲とした2指標の達成状況を示しています。